

# 令和3年度全国学力・学習状況調査結果の概要について

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査の概要

- (1) 実施期日 令和3年5月27日(木)
- (2) 対象学年 小学校第6学年 中学校第3学年
- (3) 調査事項

### ①教科に関する調査〔国語、算数・数学〕

国語、算数・数学は、それぞれ次のアとイを一体的に出題。

ア 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

イ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

### ②質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施。本年度の主な調査項目は以下のとおり。

- ・挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等
- ・ICTを活用した学習状況
- ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況
- ・学習に対する興味・関心や授業の理解度 等

3 教科に関する調査の結果概要（小学校）

① 調査科目の区分による平均正答率

(公)は公立学校

<小学校>

(単位%)

調査科目	羽生市	埼玉県 (公)	全国 (公)
国語	67.0	65.0	64.7
算数	70.0	69.0	70.2

② 学習指導要領の内容・領域での区分による平均正答率

<小学校国語>

学習指導要領の内容	羽生市	埼玉県 (公)	全国 (公)
話すこと・聞くこと	75.3	77.5	77.8
書くこと	66.5	61.6	60.7
読むこと	48.5	46.8	47.2
言葉の特徴や使い方に関する事項	72.2	68.9	68.3

<小学校算数>

学習指導要領の領域	羽生市	埼玉県 (公)	全国 (公)
数と計算	64.4	61.2	63.1
図形	57.4	54.8	57.9
測定	73.4	72.5	74.8
変化と関係	75.1	75.8	75.9
データの活用	75.6	76.2	76.0

4 教科に関する調査の結果概要（中学校）

① 調査科目の区分による平均正答率

(公)は公立学校

<中学校>

(単位%)

調査科目	羽生市	埼玉県 (公)	全国 (公)
国語	62.0	65.0	64.6
数学	53.0	57.0	57.2

② 学習指導要領の領域等での区分による平均正答率

<中学校国語>

学習指導要領の領域等での区分	羽生市	埼玉県 (公)	全国 (公)
話すこと・聞くこと	77.7	79.8	79.8
書くこと	52.6	56.7	57.1
読むこと	44.0	48.2	48.5
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	74.2	75.8	75.1

<中学校数学>

学習指導要領の領域等での区分	羽生市	埼玉県 (公)	全国 (公)
数と式	57.2	64.3	64.9
図形	45.7	52.0	51.4
関数	54.2	55.5	56.4
資料の活用	53.9	53.2	53.8

5 質問紙調査結果の概要

※質問事項は、小学校6・9項目、中学校6・9項目から抜粋

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値  
(%)

質問事項	小学校6年生		
	羽生市	埼玉県	全国
朝食を毎日食べている	95.8	95.5	94.9
自分にはよいところがある	78.3	78.0	76.9
家で、自分で計画を立てて勉強をしている	77.5	76.1	74.0
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある	53.4	51.8	52.4
国語の勉強は好きだ	64.1	57.9	58.4
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	91.5	91.6	91.8
算数の勉強は好きだ	61.9	66.8	67.8
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	91.2	92.4	92.6

(%)

質問事項	中学校3年生		
	羽生市	埼玉県	全国
朝食を毎日食べている	93.9	93.0	92.8
自分にはよいところがある	75.6	76.8	76.2
家で、自分で計画を立てて勉強をしている	69.8	65.3	63.5
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある	48.1	40.6	43.8
国語の勉強は好きだ	63.4	61.2	60.8
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	89.3	88.9	88.7
数学の勉強は好きだ	60.0	58.3	59.1
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	74.1	73.7	74.6

【調査結果から分かる特徴】

- 生活習慣に関する質問「毎日朝食を食べている」については、小・中学生ともに、全国・県平均より高くなっています。
- 「家で、自分で計画を立てて勉強している」については、小・中学生ともに、全国・県平均より高くなっています。
- 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」については小・中学生ともに、全国・県平均より高くなっています。
- 教科に関して「好き」と回答した割合は、ほとんどの教科で、全国・県平均を上回っています。しかし、小学校の算数では、全国・県平均よりも低くなっています。また、「授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」について肯定的に回答した割合は、中学生国語以外で全国や県平均よりも低くなっています。学習への有用感をもてるようになることが課題です。

【羽生市の学力向上への取組】

- 各校ごとの全国学力・学習状況調査の分析
- 各校ごとの埼玉県学力・学習状況調査の分析
- 分析を基にした各校ごとの重点取組問題の焦点化
- 重点取組問題の焦点化を基にした各校ごとの重点取組実施計画書の作成
- 羽生市教育委員会学力向上学校訪問の実施
- 羽生市学力アップテストの実施・分析